

第 84 回 経営協議会議事要録

日 時：令和 4 年 1 月 27 日（木） 13：30～15：35

場 所：Microsoft Teams の「経営協議会」チーム（Web 会議）

出席者：櫻井学長、岩崎理事（教育担当）、本家理事（研究・評価・医療担当）、受田理事（地域・国際・広報・IR 担当）、宮井理事（ワークライフバランス担当）、執印医学部附属病院長、岩瀬委員、岡村委員、河合委員、川村委員、中島委員、野並委員、原委員、山崎委員

欠席者：辻田理事（総務・財務・企画担当）、中澤委員

陪席者：関監事、杉本監事、小山副理事（総務・財務担当）・事務局長、総務部長、財務部長、研究国際部長、学務部長、医学部・病院事務部長、研究国際部次長

〔配付資料〕

- 資料 1 第 4 期中期目標（原案）・中期計画（案）
- 資料 2 第 4 期中期目標・中期計画の自己点検・評価について（案）
- 資料 3-1 国立大学法人高知大学業務方法書の変更について
- 3-2 国立大学法人高知大学業務方法書新旧対照表
- 3-3 国立大学法人法の一部を改正する法律案の概要
- 3-4 国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令の公布及び法令改正に伴う国立大学法人等の業務方法書の変更について（通知）
- 3-5 国立大学協会総会文部科学省配付資料（抜粋）
- 資料 4 令和 4 年度予算伝達
- 資料 5 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について
- 資料 6 不動産（宇佐東、桜馬場）の売却について
- 資料 7-1 令和 3 年度上半期の資金運用状況について
- 7-2 令和 3 年度資金運用状況報告（詳細）
- 7-3 令和 3 年度資金運用に係るリスク状況について
- 資料 8-1 国立大学法人高知大学の令和 2 年度に係る業務の実績に関する評価結果
- 8-2 国立大学法人・大学共同利用機関法人の令和 2 年度に係る業務の実績に関する評価について（所見）
- 8-3 国立大学法人等の令和 2 年度評価結果について
- 資料 9 令和 3 年度 年度計画進捗状況一覧表（12 月末）
- 資料 10 令和 3 年度財務状況報告（令和 3 年 4 月～令和 3 年 11 月分）

議事に先立ち、第 83 回経営協議会の議事要録（案）の確認が行われ、異議なく承認された。

〔議題〕

1. 第 4 期中期目標（原案）・中期計画（案）について
小山事務局長から、資料 1 に基づき、第 4 期中期目標（原案）・中期計画（案）について説明が行われ、審議の結果、承認された。
2. 第 4 期中期目標・中期計画の自己点検・評価について
本家理事から、資料 2 に基づき、第 4 期中期目標・中期計画における自己点検・評価の実施方法について説明が行われ、審議の結果、承認された。

3. 業務方法書の変更について

小山事務局長から、資料3-1～3-5に基づき、業務方法書の変更について説明が行われ、審議の結果、承認された。

委員から、具体的な出資の予定があるかとの質問があり、学長から、具体的に予定している案件はないが、条件整備として変更するものであるとの回答があった。

4. 令和4年度予算伝達について

小山事務局長から、資料4に基づき、文部科学省からの令和4年度予算伝達について報告が行われた。

委員から、若手研究者比率を上げるため、運営費交付金以外の雇用財源を獲得することについて質問があり、学長から、外部資金や大型研究費を獲得できればあり得るが、若手研究者比率を上げるほどの人数を雇用することは難しいとの回答があった。

5. 決算剰余金の繰越承認について

財務部長から、資料5に基づき、令和2事業年度における決算剰余金の翌事業年度への繰越が承認されたことについて報告が行われた。

6. 不動産（宇佐東、桜馬場）の売却について

財務部長から、資料6に基づき、不動産（宇佐東、桜馬場）の売却について報告が行われた。

7. 令和3年度上半期の資金運用実績について

財務部長から、資料7-1～7-3に基づき、令和3年度上半期の資金運用実績について報告が行われた。

8. 令和2年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

本家理事から、資料8-1～8-3に基づき、令和2年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告が行われた。

9. 令和3年度 年度計画進捗状況について

本家理事から、資料9に基づき、令和3年度年度計画の12月末時点における進捗状況について報告が行われた。

10. 令和3年度財務状況報告（令和3年4月～11月分）について

学長から、資料10に基づき、令和3年度財務状況報告（令和3年4月～11月分）について報告が行われた。

11. その他

・学長から、経営協議会の次回開催予定について説明が行われた。

12. 大学運営に関する意見交換

岩崎理事、本家理事、受田理事から、配付資料に基づき、第4期中期目標・中期計画における特徴的な取組等について説明が行われた後、意見交換が行われた。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

・民間からのビジネスベースでの資金獲得について、地方大学の成功パターンを作り上げるこ

とを期待している。

- 校友会について、高知大学のネットワークを持っていることがメリットになると感じられるように持っていきけるかが重要である。
- 既存の IT 人材では通用しなくなっており、最先端の IT 人材が不足していると考える企業は多い。最先端 IT 人材を育成するリカレント教育は企業のニーズが高い。
- 一般の人にとって、大学の研究が何に役立つのかは理解が難しい。研究費獲得や企業との連携にもつながると思うので、世の中にわかりやすく発信していくことが望ましい。
- 校友会について、経済界にいる卒業生が卒業生同士で活動していく場づくりが必要である。それにより、大学をバックアップしようとする機運が生まれる。まずは東京で支部を作ってもらいたい。東京の企業や官庁等にいる卒業生のネットワークを作ることで、それ以外の地域にもネットワークが広がっていく。
- DX のベースを持たない学生に DX に関する全てのノウハウを身に付けてもらうのは難しい。そういった学生であっても、デジタル技術を使いこなして課題解決等を行う力を身に付けるというところでどう持っていきけるかが重要である。
- オープンイノベーション拠点 MEDi について、地域課題解決の先進事例として、大学としてもっと宣伝していけばいい。
- 光線医療センターは、国内及び世界に打って出るチャンスと思われる。企業と組んで事業を進めていくといい。
- 高知大学が行っている取組をグッドプラクティスとしてもっとアピールしていくべきである。

以上